

CORPORATE PROFILE

株式会社キャタラー 会社案内

株式会社 キャタラー

〒437-1492 静岡県掛川市千浜 7800 番地
tel:0537-72-3131 fax:0537-72-5647
<https://www.cataler.co.jp>



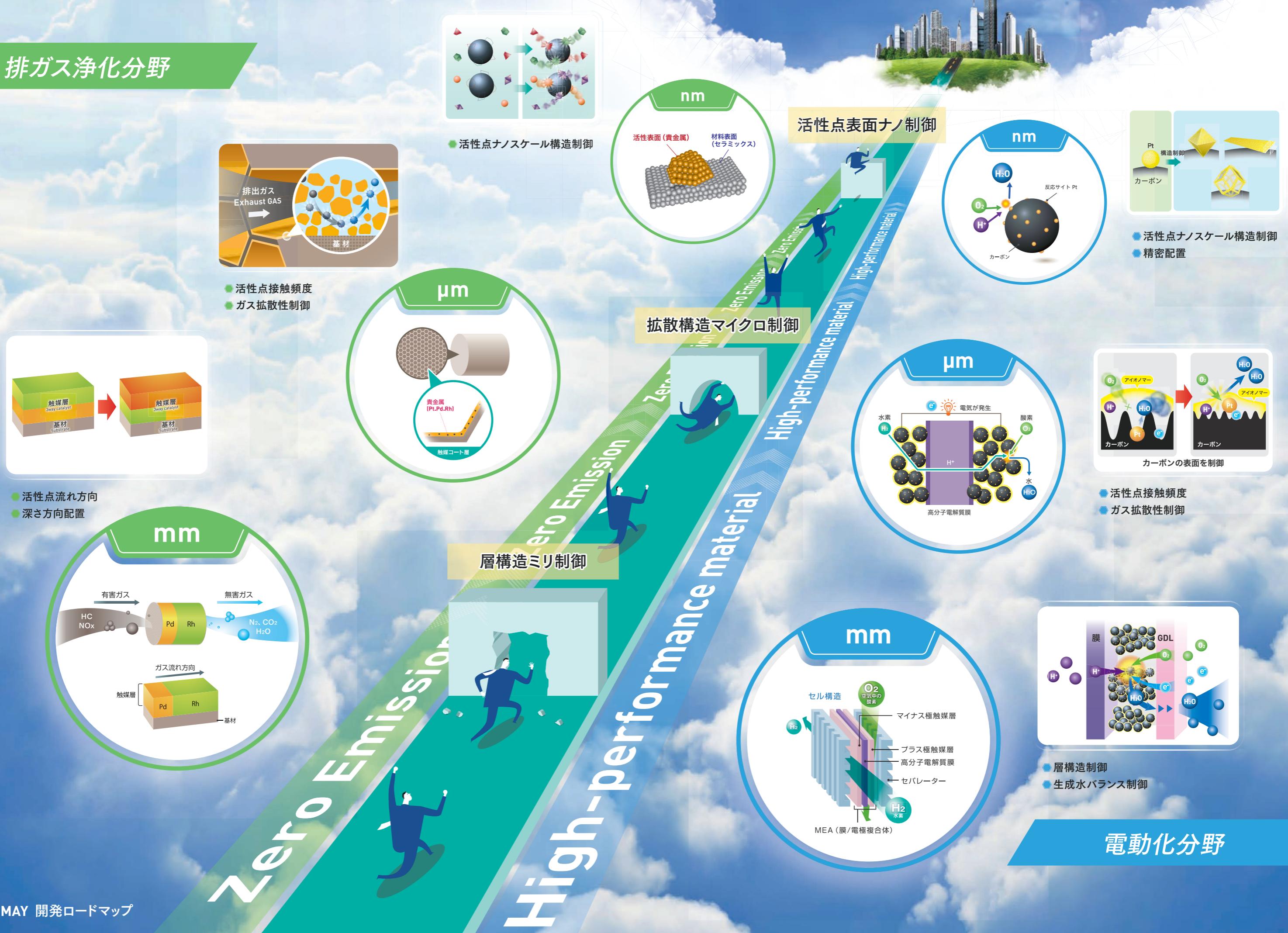
〒438-0112 静岡県磐田市下野部 1905 番地10 (下野部工業団地内)

■CLT(Cataler Link Tokyo)
〒102-0074 東京都千代田区九段 2丁目 3番 18号 豊田九段ビル 3F

■CLK (Cataler Link Kakegawa)
〒436-0028 静岡県掛川市亀の甲 1-3-1 掛川グランドホテル 10F



排ガス浄化分野



WHAT'S CATALYST?

触媒は、見えないチカラ

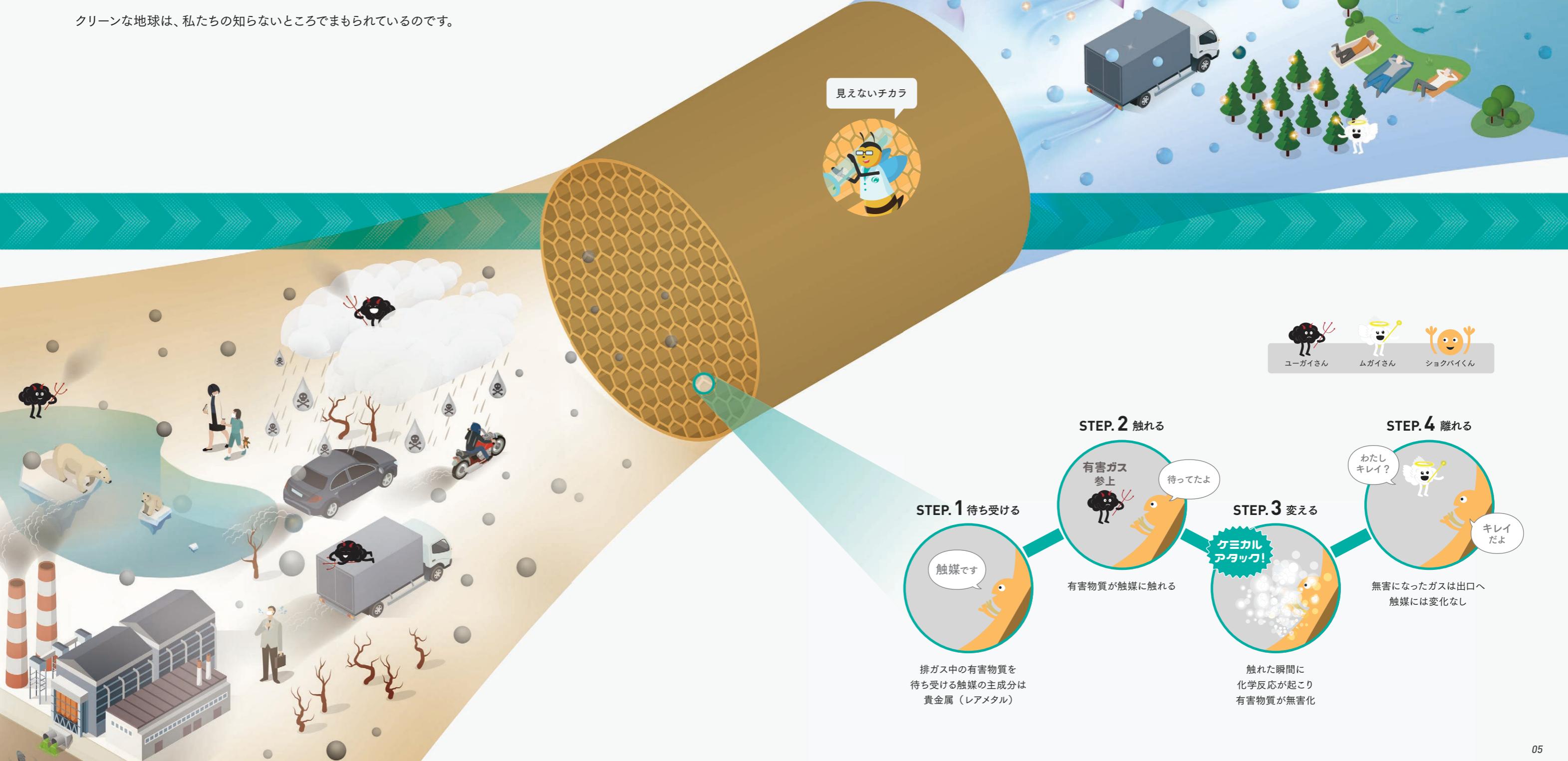
有害物質を化学反応によって無害な成分に変換する—それが触媒のチカラ。

車や工場などから生み出される有害物質を排出前に無害化するために、

そのチカラは常に見えないところで発揮されています。

キレイな空気を自然に還すことで創り出される「持続可能な循環型社会」。

クリーンな地球は、私たちの知らないところでまもられているのです。



PRODUCT LINEUP

国内トップシェアから世界のスタンダードへ

触媒の技術を活かして取組んだのは喫緊の課題でもある自動車の排ガス規制への対応。キャタラーの高度な排ガス浄化触媒技術は早くから業界の注目を集め、すでに国内ではトップシェアを獲得。海外の自動車メーカーからも高く評価され、世界でも幅広く採用されています。そしてその領域は自動車にとどまらず内燃機関が働くあらゆるステージへと発展。国境を越え、ジャンルを超えて、そのニーズはさらに高まるばかりです。



① ガソリン車用触媒

排ガス中の有害物質(炭化水素・酸化炭素・窒素酸化物)を、セラミックや金属製のハニカム構造体の穴の中に金布された触媒による酸化・還元反応によって窒素や水、二酸化炭素に変換。無害成分として排出します。

ディーゼル車用触媒

タ状基材へ触媒を塗布することにより、排ガスが
タの壁内を通過する際に、炭化水素、一酸化
ともにディーゼル車特有の粒子状物質（スス等）
します。

3 二輪車用触媒

波形の金属箔と平らな箔を重ね巻きしたハニカム構造体を金属製のパイプと組みつけたメタルハニカム担体を活用。オートバイ等の排ガスに含まれる有害物質を無害化します。

マリン用触媒

上だけでなく、水上で使用される
ヨーダー・ボートや水上オートバイ
のPWC（マリンエンジン）にも
アルミニウム触媒を搭載。米国
のガス規制に対応しています。

草刈り機やチェーンソー、トリマー等
小型エンジンを使用したガーデニング
用機器やゴルフカートなど、内燃機関
を持つ製品の排ガス浄化にも使用
されています。

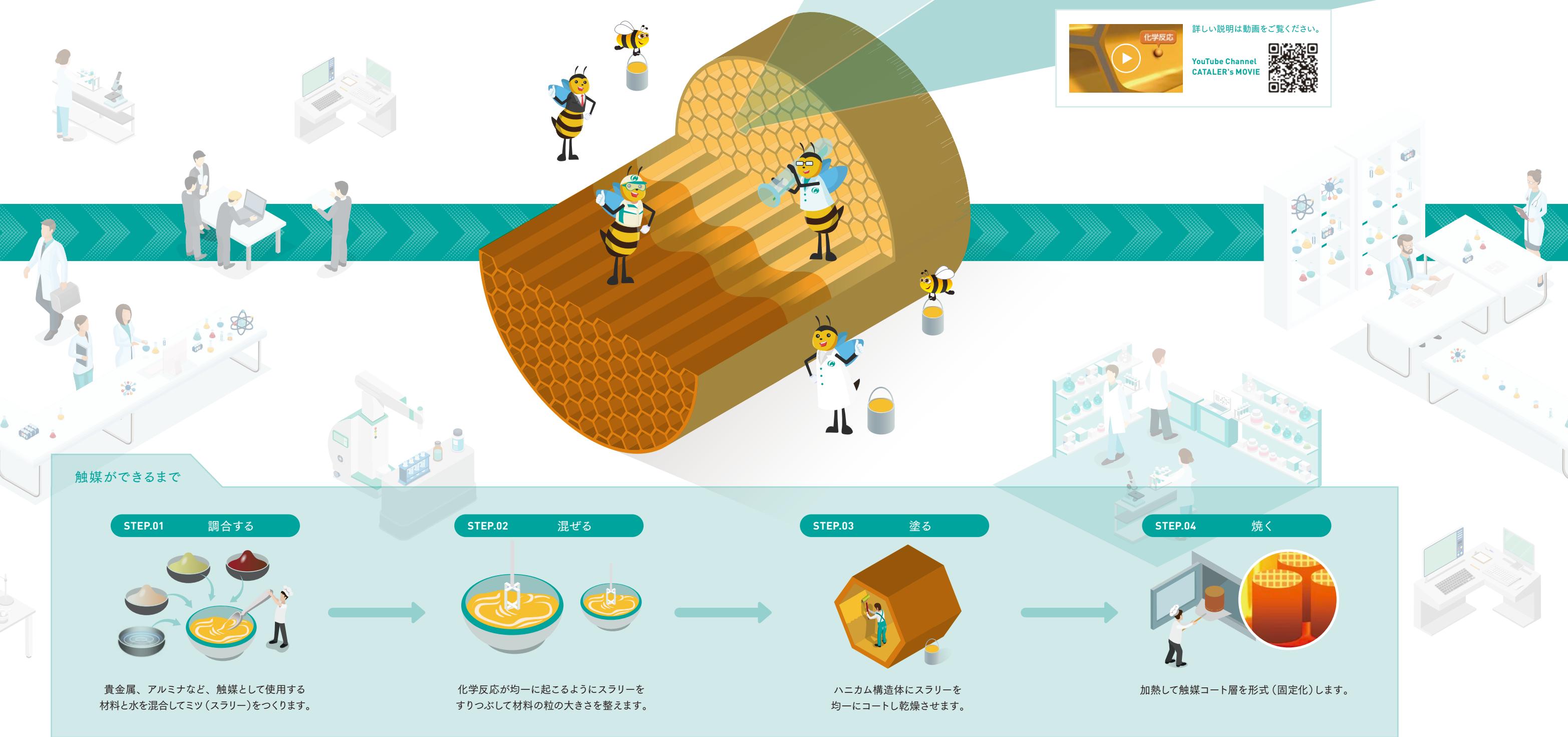
汎用エンジン用触媒

刈り機やチェーンソー、トリマー等
型エンジンを使用したガーデニング
機器やゴルフカートなど、内燃機関
持つ製品の排ガス浄化にも使用
れています。

IST CATALYST 排ガス触媒事業

ラのヒ“ミツ”をつくっています。

るハチの巣のような構造体。
されたスラリーと呼ばれるミツのような液体こそ
恐れる秘密の正体。
るチカラのヒ“ミツ”をつくっています。



VERSUS REGULAT

あらゆる外的要因を乗り

先を見据えた開発力で空気だけではなく、未だ見ぬ未来を変えるチカラ

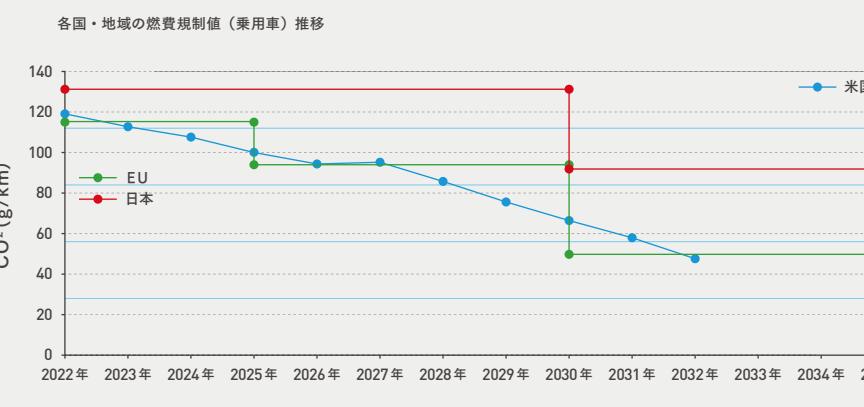
比される排ガス規制

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031		
北米	LEV III					LEV IV							
欧州	Euro 6d		Euro 6e				Euro 7						
中国	China 6a		China 6b					China 7					
インド	BS 6 Stage 1		BS 6 Stage 2							BS7			
日本	ポスト・ポスト新長期規制												
タイ	Euro 4			Euro 5			Euro 6						

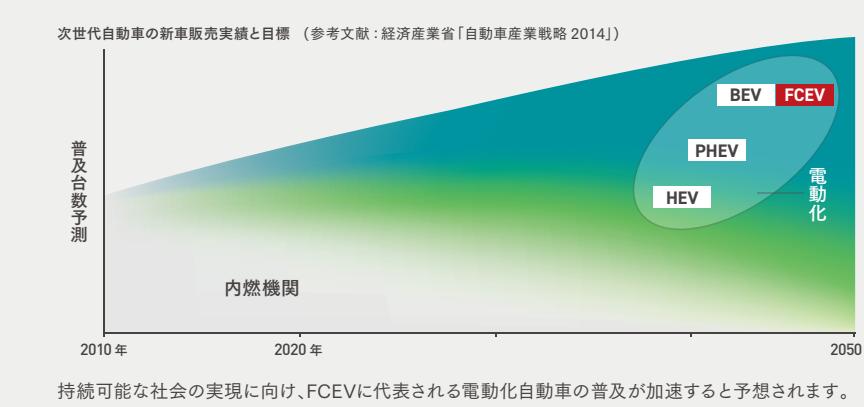
自動車の動力源は当面、化石燃料を使う内燃機関に依存すると予想され

従来規制(HC, CO, NOx, PM)に加え、PN(粒子数)の排出規制や実走行での

化される燃費規制



進する自動車の電動化



未来の自動車社会を担う 先進的なソリューションを実現しています。

「発電する力」の秘密は、当社の先進技術が生み出した「貴金属担持カーボン」。ナノレベルの粒子が、燃料である水素、酸素との反応率を高め、効率的な発電を実現。燃料電池車用電極触媒の課題のソリューションに成功しました。そして、「蓄電する力」の秘密は「バッテリー」。新たな炭素材による蓄電量の増大、電気自動車の性能向上を目指しています。



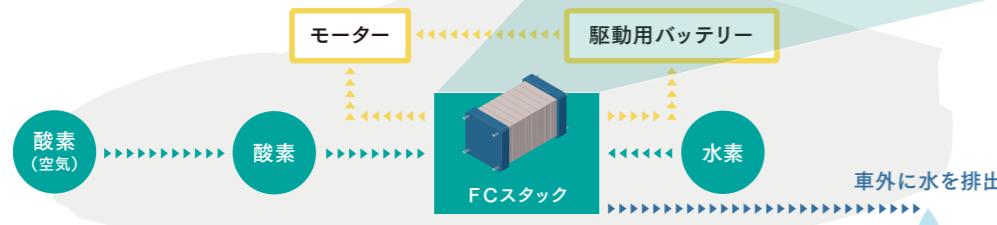
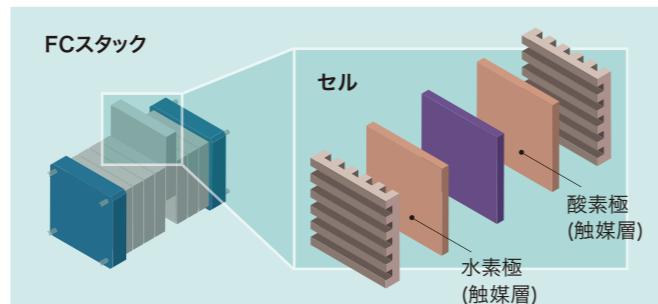
発電ソリューション

水素燃料電池自動車の「発電源」

大気中から取り込んだ酸素と、車内に搭載した水素との反応によって電気エネルギーを生み出し、モーターを動かす水素燃料電池自動車。その発電のチカラとなる「燃料電池用電極触媒」をつくっています。



触媒層はプラチナを担させたカーボンで構成されています。当社技術により、プラチナのサイズと配置を均等化することで、効率よく化学反応を起こし発電性能を向上させています。



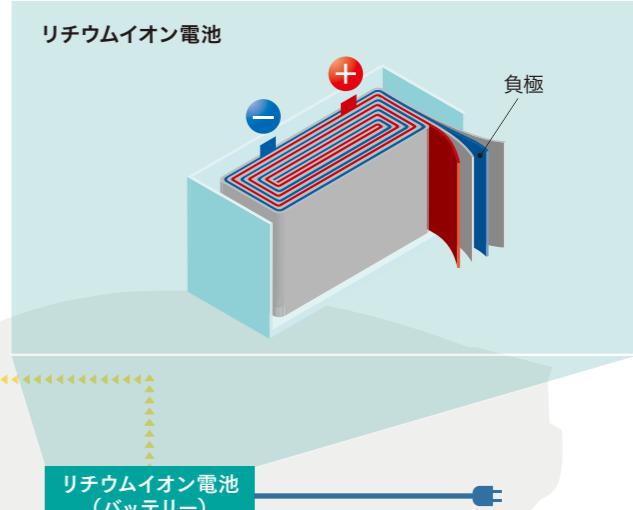
蓄電ソリューション

電気自動車の「動力源」

プラグインハイブリッド自動車を走らせるリチウムイオン電池（バッテリー）。リチウムイオン電池の電気を通りやすくする素材や電気自動車の動力源となる素材をつくりています。



リチウムイオン電池（バッテリー）の負極部分に使われる素材を生産しています。



R&D CENTER

研究開発拠点

世界中の技術者との「共創力」で新たな領域に踏み出す研究開発拠点
「ARK Creation Centre / アーク・クリエイション・センター」



「創の拠点」 アーク・クリエイション・センター

半世紀に渡り世界中の排出ガス規制をクリアしてきたキャタラーが

次に挑むのはゼロエミッション。

電気自動車(BEV)やプラグインハイブリッド(PHEV)、燃料電池自動車(FCEV)などの

次世代車の実用化への貢献をめざしています。

「アーク・クリエイション・センター」は高次元な研究開発を実現する知識と技術のプラットフォーム。

「競争」から「共創」へ。さまざまな事象をリアルに共感しながら、

挑戦的な技術者が「創」を考える場として門戸を広げています。

Advanced (先進的)

Research & development (研究開発)

Knowledge (知識、情報、熟知、精通)



ARK Creation Centre
アーク・クリエイション・センター

RESEARCH & DEVELOPMENT

研究開発

各種産業の多彩なニーズに対応するために、最高の環境と設備、企業・国境・世代の垣根を超えた連携による研究開発により、高度な技術と製品を生み出しています。



「挑戦」—引き継がれ、拡散するDNA

環境問題— 今、私たちは、かつて経験したことのない課題に直面しています。その「解」を、過去の成功事例の中に見出すことは出来ません。そして、イノベーションは現在の延長線上にある成長や進化ではなく、新たな挑戦と発想によってもたらされるものに違いありません。新しい技術の開発、新しい領域への進出、新しい人財の育成。私たちは、果てしなく壮大な夢を実現するためにチャレンジし続けます。



01 ミーティングだけでなくワークショップなど、多目的に活用できる創造空間「わいがやルーム」

02 所属部署の垣根を超えたテーマ推進のために集うプロジェクトキャンプ

03 研究者同士が自由にコミュニケーションできるオープンエリア

04 挑戦的な技術者が共創するオープンイノベーションスペース「Co-lab」

01 超ナノスケールの解析技術を駆使

02 研究開発の中心はモノづくり

03 性能向上に寄与する素材を探索

04 ディーゼル触媒分野の開発推進

01 2次電池用高性能炭素材の開発

02 電極触媒の超微小PT粒子解析

03 MEA形成

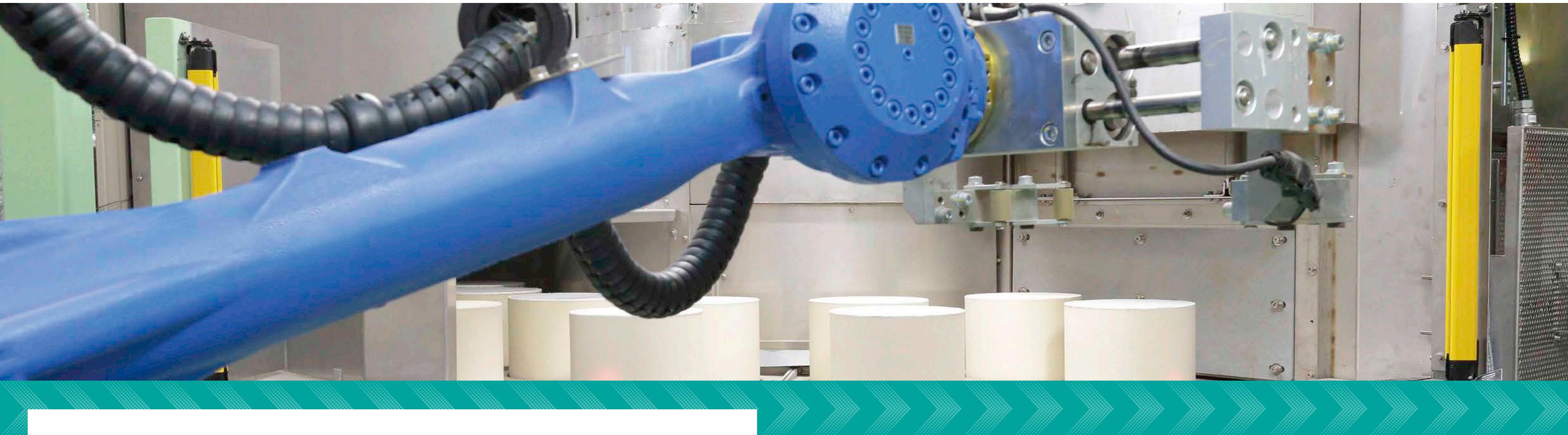
04 電極触媒のFC発電・耐久・電極触媒試験

01 フロー合成の事業化

02 CO₂削減技術の利用と事業化検討

03 新規事業探索、新規評価方法検討

04 植物へのCO₂施用の事業化



高品質な製品を世界中に提供するために、
先進技術を生み出すステージと生産技術を開発するインフラがあります。

高品質・低価格な製品を、世界中で安定供給できる生産技術体制

基礎研究から生産技術の開発、量産化までの一貫体制と、研究開発を支える最新設備。

「人を育てる力」と「組織として活かす環境と仕組み」を組み込んだ独自の生産技術開発体制

によって、世界トップクラスの技術力を持つスペシャリストを育成し、高品質かつ低成本を実現するための生産技術を生み出しています。



- 01 グローバルスタッフを交えた技術検討や人材教育
- 02 シミュレーション・解析技術を活用した設備開発
- 03 試験設備を使用したデータ取り
- 04 グローバル拠点での環境を再現可能な試験設備



EVALUATION

信頼性評価

高品質の製品だけをお客様にお届けするために、厳しい専門家の目でひとつひとつをチェックし、品質の維持とさらなる向上に努めています。



世界最高水準の品質を保証するために、
3つの視点、徹底した検査基準で
妥協なき評価を実施しています。

世界最高水準の品質を持続する徹底した検査と評価

最先端の設備を完備した試験場で、安全・環境・耐久の3つの視点から品質を検証。
その評価結果は商品開発部門に即座にフィードバックされ、さらなる品質の向上と改善に
活かされています。妥協を許さない徹底した検査と評価、そしてスピーディーな対応のサイクルが、
世界最高水準と評価されるキャタラー品質を支えています。



- 01 エンジンによる解析装置を使用した触媒性能評価
- 02 热ストレスを掛けた触媒劣化耐久試験
- 03 シャシダイナモを用いたモード走行による4輪用触媒評価試験
- 04 排ガス規制と連動した2輪車用触媒評価試験





「共存」—地域の一員として

私たちの事業活動は、地域の皆様に支えられて成り立っています。地域の一員として皆様と共に成長し、貢献し続ける企業であるためにボランティア活動に積極的に参加しています。社員ひとりひとりが活動を通じて共存共栄の喜びを実感し、環境保全に貢献する企業の一員として感謝の気持ちと誇りを持つ人として成長してほしいと願っています。



掛川市海岸一斉清掃活動

SDGsの取り組み

優先課題 (マテリアリティ)	目指す姿	ゴール	管理項目	実施事項	対象範囲
1 大気汚染による疾病件数の減少	主製品である自動車用排出ガス浄化触媒の販売を拡大していくことで、大気汚染による疾病件数の減少に貢献します	3 気候変動に具体的な対策を 	CO、HC、NOX 総浄化量	排気ガス浄化触媒の販売促進による自動車などからの排出ガスを低減	グループ全体
2 バリューチェーンにおける環境負荷低減	製品を製造、販売する上で生じる地球環境の負荷を最小化します	13 貧困に具体的な対策を 	グローバル工場 CO ₂ 排出量	省エネ設備の導入や製品の製造工程削減により、工場等で使用するガスや電気を低減	グループ全体
3 多様性の推進	多様な人財が各人のワークライフバランスに沿った働き方でイキイキと活躍できる魅力ある会社にする	8 障がい者雇用率 	貴金属使用量 (Pt,Pd,Rh) 水質	製品の性能を高めて使用する貴金属量を低減 工場排水の水質を一定以上に保ち、環境負荷を軽減	単体

企業市民活動



01 化学に触れる列車『キャタライナー』



02 掛川市城下町駅伝競争大会協賛



03 近隣小学校への出前授業

環境保全



01 しづおかアドプトロードプログラム



02 しづおか未来の森サポート活動



03 掛川法人会クリーン作戦

防災



01 津波避難施設に関する協定



02 地震津波対策寄付金



03 避難所案内電柱広告

CATALER'S QUALITY

キャタラーの品質

さらなる躍進を遂げるために
化学変化を起こす

「3つのチカラ」

優れた「ヒト」を育て、高品質な「モノ」を生み出し、卓越した
「シクミ」をつくる。キャタラーの品質は、3つのチカラの融合
と化学反応によってスパイラルアップしていきます。

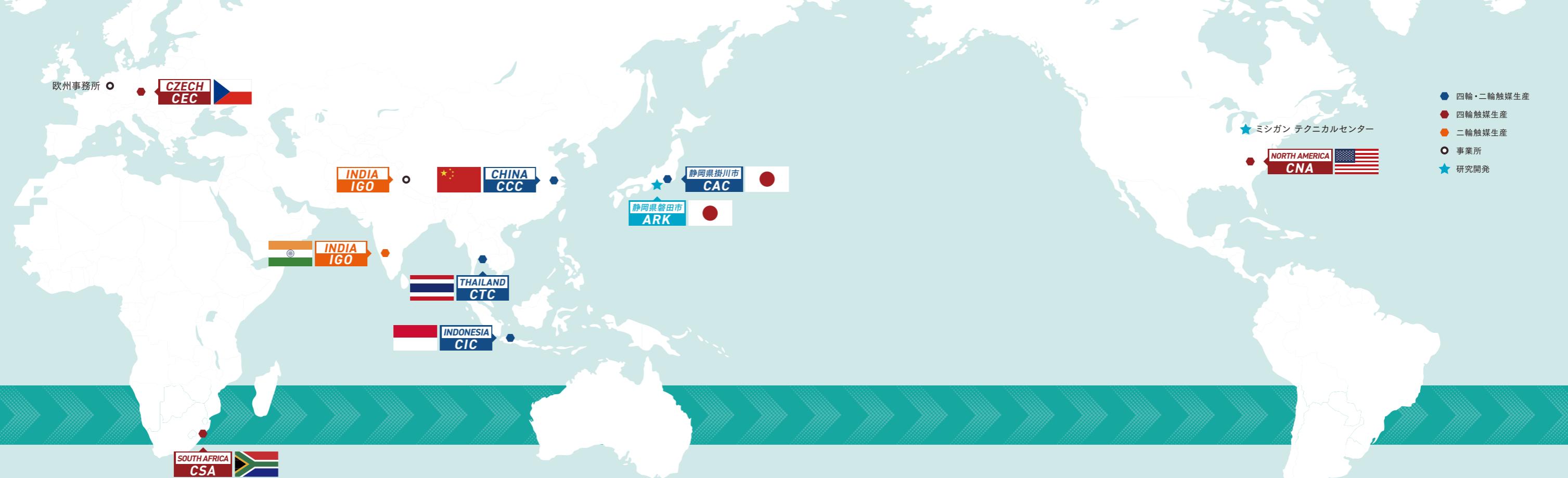


GLOBAL NETWORK

事業拠点

世界に誇る、信頼のキャタラーブランド

業界のトップブランドとして、その技術力と品質が海外でも高く評価されているキャタラー。現在ではグローバルな拠点展開による生産力・販売力の強化にも力を入れ、クオリティ、シェアともに世界のトップを目指しています。



● 海外生産拠点



● タイ (ラヨーン県)
CATALER(THAILAND)CO.,LTD. [CTC]



● 南アフリカ共和国 (ダーバン)
CATALER SOUTH AFRICA(PTY)LTD. [CSA]



● アメリカ合衆国 (ノースカロライナ州)
CATALER NORTH AMERICA CORPORATION [CNA]



● 中国 (江蘇省 無錫市)
科特拉(無錫)汽車環保科技有限公司 [CCC]



● インドネシア (ブカシ県)
PT.CATERER INDONESIA[CIC]



● インド (カルナタカ州)
CATALER INDIA AUTO PARTS PVT. LTD.[CIN]

● 本社 (静岡県掛川市)



● 研究開発拠点 (静岡県磐田市)



● 国内拠点



● キャタラーリングトーキョー (東京都千代田区)



ロゴに込めた想い

ARK Creation Centreのシンボルマークは、ひとつとして同じでない形や色をしたエレメントが集合してひとつの形をつくりています。これは、多様な知恵や技術、個性やアイデアが有機的に交じりあいながら、社会に新しい価値を生み出していく姿を形にしたもののです。



● キャタラーリング掛川 (静岡県掛川市)

ABOUT CATALER

会社案内

創立以来、多くのお客様や地域に支えられ成長を続けるキャタラー。
CAC(本社)を中心に、さらにグローバルな展開を目指しています。



Photo by
X @Mattiew17

会社概要

株式会社キャタラー



所在地 〒437-1492
静岡県掛川市千浜7800番地
TEL: 0537-72-3131 (代表)

創立 1967年5月8日

代表者 代表取締役 石田 雅資

資本金 5億5,120万円

従業員数 単独 1,217人 (2025年4月1日時点)
連結 2,733人 (2025年4月1日時点)

売上高 単独 1,961億円 (2024年度)
連結 2,971億円 (2024年度)

売上高推移 (億円)



従業員推移 (人)

